

俳句ポスト 冬の部 特選句

竹中 昭子 選(白山市俳句協会)

白山の峰くつきりと小六月	小松市	中村 幸子
冬の灯のひとつは我家歩道橋	愛知県	与玖法破来
真先に紐衝ふ犬冬麗	ハツ矢町	戸田 敬子
掛軸を替へて迎へる今朝の冬	東京都	高嶋 旅人
柚子味噌や母の思ひ出語る夫	柏町	大浦 春美
地を離るごと行く列車冬銀河	宮永市町	住 玲子
朝寒の厨に落とす葉かな	美沢野町	永盛 富佐恵
隣より冬至南瓜を半分こ	福井県	大崎 昌子
自転車は影絵となりぬ冬夕焼	鶴来本町三丁目	北山 美和
定位置にかけて安堵の初暦	福井県	桑島 真喜栄
竹山の三味の音哀し冬の濤	中町	佃 久美子
平凡な余生に足りて冬至粥	金沢市	羽柴 瑞枝
光の粒残し水鳥飛び立ちぬ	兵庫県	保理江 順子
母につくやさしき嘘や冬銀河	能美市	森田 香津美
道祖神寄せ合う肩に今朝の雪	新成二丁目	石尾 サチコ
山里の流るる雲や暮れ早し	河内町きりの里	南保 蒼生子
我が生涯いまだ旅路や年新た	千代野東三丁目	村上 利江
この先は集落ひとつ冬の川	蕪城二丁目	森 典子
ふるさとやどこもかしこも冬に入る	東二口	山口 一男
露天風呂いつでもそばに枯木星	奈良県	浦城 亮祐

選者吟

今朝雪の匂ふ白山風かな

昭子

〈令和4年11月～翌1月 投句者数 116人,投句数772 句〉